

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	社会的養護Ⅰ						授業形態		講義	
科目コード	750181	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	西田 雅美								ICT活 用	○
授業概要	日本においては、様々な理由で保護者による養育が困難な子どもに対して、社会全体で育てていくという社会的養護が展開されている。本講義では、社会的養護の基本、意義と歴史の変遷、現行の社会福祉制度や実施体系について学び、児童福祉の専門職としての基礎的知識の習得を目的とする。 また、地域における児童福祉施設の専門的役割や児童福祉施設を中心とする社会福祉施設における日常生活援助、施設保育士の専門性、特別な配慮を必要とする児童や保護者への援助について学ぶ。 その他、アドミッションケア、インケア、リービングケア、アフターケア、や児童の権利保障及び自立支援計画などについて学ぶ。 後期に実施される、保育実習指導ⅠB(施設)の事前指導としての内容も含む。実習先の児童福祉施設の概要、機能、各種専門職の具体的な役割、保育者に求められる専門性等についても理解する。 関連資料や視聴覚教材から社会的養護の対象や形態、施設の概要、勤務する保育者を含む各専門職の具体的役割や求められる専門性についても理解する。さらに、社会的養護の現状と課題について理解する。									
関連する科目	「社会福祉」を履修しておくことが望ましい。履修後は「子ども家庭福祉」、「子育て支援」、「社会的養護Ⅱ」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	講義の前半は、計画内容に沿った講義をパワーポイントや講義プリント、関連資料等を活用しながら進める。後半では、演習課題や視聴覚教材を通し、前半の内容理解を深める。 その他、保育実践や理解度確認のための振り返りテストを行う。									
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション 社会的養護の基本的理念と概念 社会的養護における基本的理念と保育者の役割について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	2. 社会的養護の歴史の変遷 社会的養護の成り立ちと近年の動向について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	3. 子どもの権利と社会的養護 権利の捉え方と権利養護に向けた取り組み等について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	4. 社会的養護の基本原則 社会的養護に関係する法律等について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	5. 社会的養護の制度 社会的養護の体系や相談体制、実施機関について理解する。									
授業計画 【第6回】	6. 児童虐待 児童虐待の現状や背景について学び、支援方法について理解する。									
授業計画 【第7回】	7. 施設養護の種類と専門職 施設養護の種類と概要を学び、乳児院、母子生活支援施設の目的や入所理由、課題等について理解する。									
授業計画 【第8回】	8. 施設養護の種類と専門職 施設養護の種類と概要について学び、児童養護施設、自助援助ホームの目的や入所理由、課題等について理解する。									
授業計画 【第9回】	9. 施設養護の種類と専門職 施設養護の種類と概要について学び、児童心理治療施設、児童自立支援施設の目的や入所理由、課題等について理解する。									
授業計画 【第10回】	10. 施設養護の種類と専門職 障害児を対象とした施設について学び、社会的養護に関わる様々な専門職について理解する。									

授業計画 【第11回】	11. 施設養護における保育士の支援 施設養護における目標や過程について学び、施設保育士に求められる支援について理解する。
授業計画 【第12回】	12. 家庭養護の種類と特徴 家庭養護における現状と実態を学び、里親制度について理解する。
授業計画 【第13回】	13. 家庭養護の種類と特徴 家庭養護における現状と実態を学び、養子縁組制度について理解する。
授業計画 【第14回】	14. 児童福祉施設の支援者としての保育士 保育者に求められる資質と倫理、支援者に求められる条件について理解する。
授業計画 【第15回】	15. 社会的養護の現状と課題 社会的養護関係の施設と地域との関わりや、地域支援・地域貢献の在り方について学び、児童福祉施設としての地域福祉推進に向けた課題について理解する。
授業の到達目標	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷、現状と課題について理解している。 2. 社会的養護に関する制度や実施体系について理解している。 3. 社会的養護の対象や形態、関係する施設の概要や専門職等について理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	講義内で次回の内容について説明を行う。該当する内容について各自で調べておく（40分程度）。
授業時間外学習【復習】	講義内容を再度振り返り各自でまとめること。また、振り返りテストの実施内容を再度振り返り、知識の定着を図る（60分）。
課題に対する フィードバック	振り返りテストは実施後に解説する。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 最終試験（50点） 2) 講義態度・意欲（30点） 3) 振り返りテスト、保育実践、課題提出（20点）
テキスト	『改訂 保育士を目指す人の社会的養護Ⅰ』 服江 隆・坂多 聖 共著 編集 株式会社みらい 『令和5年度 最新版 幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』＜原本＞ チャイルド本社 その他 適宜プリントを配布する
参考書	『新基本保育シリーズ⑥ 社会的養護Ⅰ』 公益財団法人 児童育成協会 監修 相澤 仁・林浩康 編集 中央法規出版株式会社 『子どもと社会の未来を拓く 新・社会的養護の原理（社会的養護Ⅰ）』 櫻井 奈津子 編者 青鞿社
備考	製作や保育実践を取り入れる。